特別セミナー

日米比較 これからの木造住宅の耐久性とは

主催：一般社団法人住まいの屋根換気壁通気研究会　後援：旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社

参加費用
7,000円/名
（事前振込払い）

開催日時 2017 年 5 月 19 日（金） 13:30 開場 14:00 開会
会　　場 フクラシア品川 クリスタルスクエア（JR 品川駅港南口から徒歩８分）
定　　員 先着 100 名

セミナーの内容と講演者の御紹介

第１部　米国と日本の識者による講演

講演１　60 分

アメリカの住宅関連基準からみるこれからの耐久性について

E.I デュポンリサーチフェロー , Ph.D.
ウェストン・テレサ

ウェストン博士は、ASHRAE（アメリカ暖房冷凍空調学会）、ASTM（米国試験材料協会）などの企画や基準作成における委員、及び、米国グリーンビルディングに関する協会役員を長らく務められてきました。本講演では、木造住宅の外壁・屋根などにおける水、湿気、空気のマネジメントに関してアメリカの建築基準や背景にある考え方を解説します。

講演２　30 分

住宅を劣化させる雨水浸入と外皮内排水、通気措置の重要性

東海大学名誉教授 博士
石川 廣三
（一社）住まいの屋根換気壁通気研究会 理事

日本における雨仕舞研究の第一人者。一貫して屋根・外壁の防水及び耐久性に関する研究に従事、日本建築学会、金融支援機構等の外装関連工事仕様書、施工要領の作成にも関与。委員長を務めた国土技術政策総研主催の木造住宅の外皮構造・仕様に関する共同研究の内容を含め、木造住宅の耐久性に関わる雨水対策の問題点と今後の課題について解説します。

講演３　30 分

高性能住宅でも遅れている屋根の耐久性と結露リスク

有限会社松尾設計室 代表
松尾 和也
（一社）住まいの屋根換気壁通気研究会 理事

九州大学工学部建築学科卒業（熱環境工学専攻）一級建築士。APECアーキテクト2005年サスティナブルTOKYO世界大会で「サスティナブル住宅賞」受賞。設計活動の他、専門誌への執筆活動や「断熱」「省エネ」に関する講演も行なっており、受講した設計事務所、工務店等は延べ3000社を超えます。2009年パッシブハウスジャパンを立ち上げ、理事としてドイツの最先端省エネ建築の考え方を日本の気候条件に合わせる形で普及促進活動を行なっています。

講演４　30 分

温暖地での気密・防湿の考え方

近畿大学建築学部学部長
建築環境システム研究室 教授・博士
岩前　篤
（一社）住まいの屋根換気壁通気研究会 理事

断熱・気密・防露のスペシャリスト、「断熱のアインシュタイン」(日テレ)。ハウスメーカーでの住宅の断熱・気密・防露に関する研究開発に携わった後、近畿大学理工学部建築学科教授を経て、同学部長に就任。日本・アジア気候特性と暮らし方に基づく建物計画手法、ゼロエネ技術、健康維持増進技術を含め、健康・快適でエネルギー性能に優れた住宅の有り様とこれを実現する素材・部材を研究。本講では温暖地における結露リスクと防露計画について解説します。

第２部　スペシャルトークセッション

50 分

上記講師陣及び、国立研究開発法人建築研究所理事長・東京大学名誉教授・住まい換気研理事 坂本雄三氏 、（有）第一浜名建装社長・住まい換気研主席研究員 久保田仁司氏、（株）ハウゼコ社長・住まい換気研理事長 神戸睦史氏を迎え、住宅耐久性向上に関する皆様のご質問にお答えします。

懇親会
18:00 ～ 19:00
参加費無料

セミナー終了後、講師と直接質疑を行っていただくことが出来るよう懇親会を別室で行いますので、皆様お立ち寄り下さい。

申し込み FAX：06 - 4963 - 8267（一社）住まいの屋根換気壁通気研究会事務局（ハウゼコ本社総務部）

貴社名 [必須]　　受講者名 [必須]

〒
所在地 [必須]　　TEL/FAX [必須]

E-mail [必須]

懇親会参加　します　/　しません
※いずれかに〇をしてください。（参加費無料）

お問い合わせ先　TEL.06 - 4963 - 8266（ハウゼコ本社総務部）